

## 「総合計画」➡「行政経営戦略」



### 市政運営の基本となる計画は 市民と一緒に作り上げるといった視点が大事！

「第4期総合計画」10年の最終年度です。

現総合計画は、公募市民による「まちづくり市民会議」を設置し提言を得たり、各種意識調査、意見募集・インタビューなどもおこなったりして「みんなで育むつながりのまちせつつ」をメインスローガンにつくられています。

当面、今後の5年間は総合計画の基本理念を引継ぎ、すべての分野別計画を一体化した「行政経営戦略」に集約化していくということについて、あらためて市民参画のあり方を重視し、検討することを求めました。

## 国保料



### 大阪府の言いなりにまた値上げ 払えない国保料は引き下げを！

大阪府維新知事の統一化推進の押し付けで国保料は今年も値上げ。所得200万円40歳代夫婦と子ども2人の世帯でなんと40.6万円、所得の2割以上となります。

大阪府は府内統一保険料となる2024年度に向け推計を出しました。2019年度一人当たり13.9万円(大阪府平均)が毎年約1万円ずつ上がり2024年度には最大20.8万円に。とても払えません。統一化は全国でも大阪だけ、法的根拠はありません。摂津市は大阪府言いなりをやめて、値上げではなく値下げをすべきです。

## 子どもの貧困対策



### 7人に1人の子どもが貧困状態 実態を把握し子どもを守る対策を

日本の子どもの貧困率は13.9%、摂津市の18歳未満の人口に換算すると2000人の摂津の子どもたちが貧困に苦しんでいることとなります。

現代の子どもの貧困は表に現れにくく、学校を含め行政はその実態をつかみ切れれていません。

大阪府や吹田市など独自に実態調査を行っています。摂津市の子どもたちの現状、就学援助金、児童扶養手当、生活保護など既存制度が必要な人に適切に提供できているかなど早急に実態調査を行い、子どもの貧困対策計画に反映し市役所全体で取り組むよう要望しました。

子育て  
教育  
暮らし  
まちづくり  
で  
積極的  
提案  
日本共産党

## 保育・幼児教育



### 待機児童の解消、安心安全の保育施設の 確保に摂津市の責任はたせ

2021年4月に市立保育所3園(別府保育所、鳥飼保育所、子育て支援センター)と幼稚園2園(べふ幼稚園、とりかい幼稚園)を認定こども園3園に統合。また市立せつつ幼稚園は2022年4月に民営化の予定です。

希望する保育園に入れない児童は4月当初で約200名。民間保育施設にのみ頼る従来の姿勢では待機児童の解消はできません。不足する保育士の待遇改善、保育の質の向上とあわせ、市立保育施設の拡充、定員増をはかるべきです。

## 自衛官募集で名簿提供



### 若者の個人情報勝手に提供するな

自衛官募集に伴う若者の名簿提供依頼に対し、摂津市は4年前から、それまでの「閲覧・転記」という対応を変え、若者の名簿(6,355人)を紙媒体で提供しています。自衛隊法では「協力の要請であり強制ではないこと」、そして住民基本台帳(氏名や住所等記載)法では「国等は法令で定める事務の遂行(法定受託事務)のために限って台帳を閲覧させることができる」とそれぞれ規定しています。だからこそ全国では6割の自治体が「法律でできるのは閲覧・転記」までとの対応を行なっています。直ちに「法律」を守り、名簿の提供はやめるべきです。

## 中学校給食



### 低迷のデリバリー選択制 府内では見直しひろがる 摂津市も全員給食へ早期決断を！

デリバリー方式選択制給食がはじまって6年目。喫食率は4~5%と低迷が続いています。学校給食は教育の一環です。1日も早く安全安心の全員給食を実施するべきです。

しかし、摂津市は、2023年度末まで低迷するデリバリー方式選択制の給食を継続する計画です。

府内自治体では、選択制から全員給食への見直しが広がっています。昨年度、摂津市も全員給食の可能性を検討するため「自校調理方式」「親子調理方式」「給食センター方式」「民間調理場活用方式」など7案について詳細な調査を行いました。

あとは決断です。ごいっしょに栄養バランスのとれた安全な給食を中学生全員に提供するよう求めましょう。



昨年11/29に198項目の予算要望書を提出

## 今年度実施される主な事業

### 学童保育の延長保育実施

午後5時半から午後7時まで延長保育実施。しかし3小学校が民間委託。

### 学校施設の改修

学校照明のLED化(味生小・第2・第3中の実施設計)、トイレ改修(味舌・千里丘・摂津小学校、第2・第3中学校)、千里丘小学校での児童数増加に向け基礎調査を実施し、校舎の整備を検討。

### 防災対策と消防力の強化

2小学校区で「地域版防災マップ」作成、全小中学校に鍵ボックスを設置、耐震診断補助額を45,000円→50,000円、マンホール用トイレおよびテントを6セット配備、味出張所の消防ポンプ自動車および救命ボートの更新。

### 安全・安心のまちづくり

モノレール南摂津駅に可動式ホーム柵設置(次年度に摂津駅に設置予定)、雨水などの取水施設やポンプ場に水位計と定点カメラの設置。

### 千里丘三島線の拡幅整備

千里丘東2丁目側の地権者への立退き補償交渉など。3年後に完成予定。

### 母子保健の充実

出産育児課の創設、母子保健コーディネーターの増員、産後うつ等の早期発見と支援、産後4ヶ月未満の産婦にケアおよび育児指導等。

### 教育、スポーツ環境の取組み

摂津sunsun塾の受講者を中学2・3年まで拡充し科目に国語を追加、旧味舌スポーツセンター跡地への体育館建設(避難所機能を備えた)、味生体育館の空調設備の改修。

### 公共下水道整備

三箇牧鳥飼・東別府地域の雨水幹線工事。

### 水道施設の改修

中央送水場1号配水池の建替工事、鳥飼送水場の送水管の2系統化工事。

## 日本共産党提出の

2つの意見書が全会一致で



- 国立感染症研究所の機能強化を求める意見書
- 地球温暖化対策のさらなる強化を求める意見書